

BOSE

QUIETCOMFORT® 35



OWNER'S GUIDE • BRUGERVEJLEDNING •
BEDIENUNGSANLEITUNG GEBRUIKERSHANDLEIDING • GUÍA DEL
USUARIO • KÄYTTÖOHJE NOTICE D'UTILISATION • MANUALE DI
ISTRUZIONI

KEZELÉSI ÚTMUTATÓ • BRUKERVEILEDNING
PODRECZNIK UŻYTKOWNIKA • MANUAL DO PROPRIETÁRIO

BRUKSANVISNING • คู่มือผู้ใช้ • 사용자 안내서
用戶指南 • 使用者指南 • 取扱説明書 • لمالكك لهدية

安全上の留意項目

安全上の留意項目および使用方法をよく読み、いつでも参照できるように保管してください。

警告/注意

- 大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に長時間にわたるヘッドホンのご使用の際は、大きな音量はお避けください。
 - ヘッドホンを使用する場合は、耳に負担をかけないように適度な音量に調節してください。
 - 再生機器の音量を下げてからヘッドホンを耳に装着し、適度な音量になるまで少しずつ音量を上げてください。
- 車を運転している時は、ヘッドホンを使用して電話をかけたり音楽を聴いたりしないでください。
- 自転車に乗っている時や、車道、建設現場、線路などの付近を歩いている時など、外部音が聞こえないことによって自身や他の人に危険が生じる可能性がある場合は、ノイズキャンセリング機能付きヘッドホンを使用しないでください。
 - アラームや警告音などの周囲の音が聞こえるように、ヘッドホンを外すか、ノイズキャンセリング機能をオフにして音量を下げてヘッドホンをお使いください。
 - ヘッドホンを使用している時は、確認や注意喚起のための音声と異なった感じで聞こえる場合がありますので、ご注意ください。
- ヘッドホンから異常な音が聞こえる場合は、ヘッドホンを使用しないでください。そのような場合は、ポーズ株式会社カスタマーサービスにご連絡ください。
- 熱を感じた場合、または音声が聞こえなくなった場合には、すぐにヘッドホンを外してください。
- ヘッドホンを飛行機の座席端子に接続する際は、携帯電話用のアダプターは使用しないでください。使用した場合、怪我や過熱による物的損害が発生する恐れがあります。
- 緊急の場合以外、このヘッドホンを航空通信用ヘッドホンとして使用しないでください。
 - 電池が消耗している、または正しく挿入されていない場合、音声は聞こえません。そのため、航空機の操縦中に通信を聞き逃す危険性があります。
 - プロペラ機では通常、環境騒音レベルが非常に大きく、特に離陸時や上昇中に音声通信の受信性能が低下する恐れがあります。
 - このヘッドホンは、民間航空機以外の航空機が一般的に遭遇する騒音レベルや高度、温度、その他の環境状況に合わせて設計されていないため、重要な通信に妨害が起こる恐れがあります。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 許可なく製品を改造しないでください。
- この製品には、法令(UL、CSA、VDE、CCCなど)に準拠した電源アダプターのみをお使いください。
- バッテリーが含まれる製品を直射日光や炎などの過度な温度にさらされるような場所で保管しないでください。

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by Bose Corporation could void the user's authority to operate this equipment.

This device complies with part 15 of the FCC Rules and with Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation

This device complies with FCC and Industry Canada radiation exposure limits set forth for general population. It must not co-located or be operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

この製品はIDAの要件に適合しています。

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

Management Regulation for Low-power Radio-frequency Devices

Article XII

According to "Management Regulation for Low-power Radio-frequency Devices" without permission granted by the NCC, any company, enterprise, or user is not allowed to change frequency, enhance transmitting power or alter original characteristic as well as performance to an approved low power radio-frequency devices.

Article XIV

The low power radio-frequency devices shall not influence aircraft security and interfere legal communications; if found, the user shall cease operating immediately until no interference is achieved. The said legal communications means radio communications operated in compliance with the Telecommunications Act.

The low power radio-frequency devices must be susceptible with the interference from legal communications or ISM radio wave radiated devices.

 Bose Corporation hereby declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC and all other EU directive requirements. The complete declaration of conformity can be found at: www.Bose.com/compliance



原電池回収

使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。



This symbol means the product must not be discarded as household waste, and should be delivered to an appropriate collection facility for recycling. Proper disposal and recycling helps protect natural resources, human health and the environment. For more information on disposal and recycling of this product, contact your local municipality, disposal service, or the shop where you bought this product.

規制に関する情報

この製品のリチウムイオン充電電池の取り外しはサービス担当者にお任せください。詳細につきましては、ボーズ株式会社カスタマーサービスにお問い合わせいただくか、http://www.bose.co.jp/consumer_audio/user_support/recycle/recycle.jspを参照してください。



Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements						
	Toxic or Hazardous Substances and Elements					
Part Name	Lead (Pb)	Mercury (Hg)	Cadmium (Cd)	Hexavalent (CR(VI))	Polybrominated Biphenyl (PBB)	Polybrominated diphenylether (PBDE)
PCBs	X	0	0	0	0	0
Metal Parts	X	0	0	0	0	0
Plastic Parts	0	0	0	0	0	0
Speakers	X	0	0	0	0	0
Cables	X	0	0	0	0	0
This table is prepared in accordance with the provisions of SJ/T 11364. 0: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement of GB/T 26572. X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement of GB/T 26572.						

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「5」は2005年または2015年です。

中国における輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plan 9, No. 353 North Riyang Road, China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone

EUにおける輸入元: Bose GP, Castleblayney Road, Carrickmacross, County Monaghan, Ireland

台湾における輸入元: Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No.10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan

「Made for iPod」、「Made for iPhone」および「Made for iPad」とは、そのアクセサリがiPod、iPhone、あるいはiPadへの接続専用に設計され、アップル社が定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップル社は、本製品の機能、安全、および規格への適合について、一切の責任を負いません。このアクセサリをiPod、iPhoneあるいはiPadと共に使用すると、無線通信の性能に影響を与える場合があります。

iPad、iPhone、およびiPodはApple, Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

AppleおよびAppleのロゴはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

Android、Google Play、およびGoogle PlayのロゴはGoogle Inc.の商標です。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

N-Markは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。

©2016 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

システムの準備

内容物の確認.....	7
ヘッドホン各部の名称.....	8
ヘッドホンの電源を入れる.....	9
ノイズキャンセリングのみの使用.....	9

Bose® Connect アプリ

特長.....	10
---------	----

バッテリーを充電する

USBケーブルを接続する.....	11
バッテリー残量の確認.....	11

ヘッドホンのステータスインジケータ

Bluetooth®インジケータ (✳).....	12
バッテリーインジケータ (🔋).....	12

音声ガイド

組み込まれている言語.....	13
言語を変更する.....	13

Bluetooth® 接続

Bluetooth®ワイヤレステクノロジーについて.....	14
ペアリング方法を選択する.....	14
Bluetooth®対応機器をペアリングする.....	15
NFCによるBluetooth®対応機器のペアリング.....	16
Bluetooth®対応機器の接続を解除する.....	17
Bluetooth®対応機器を再接続する.....	17

複数の接続を管理する

接続されている2台のBluetooth®対応機器を切り替える.....	18
接続されているBluetooth®対応機器を識別する.....	18
ヘッドホンのペアリングリストにあるBluetooth®対応機器に接続する.....	18
ヘッドホンのペアリングリストを消去する.....	18

目次

ヘッドホンの操作

メディアの再生機能と音量調節機能	19
通話機能	20

有線接続

音声ケーブル(予備)の使用	21
---------------------	----

お手入れについて

ヘッドホンを収納する	22
ヘッドホンの清掃	22
交換用イヤークッションについて	23
保証	23
仕様	24
シリアル番号の位置	24

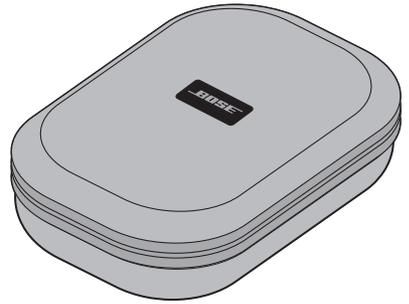
故障かな?と思ったら	25
------------------	----

内容物の確認

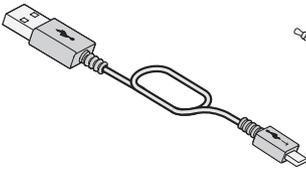
箱の中身を取り出して、下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



Bose® QuietComfort® 35 wireless headphones



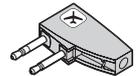
キャリングケース



充電用USBケーブル



予備用音声ケーブル



機内用デュアルプラグアダプター

万一、開梱時にヘッドホンの一部が損傷しているのが発見された場合は、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでの使用はお止めください。

ヘッドホン各部の名称



ヘッドホンの電源を入れる

🔌 ボタンを右にスライドさせます。



ノイズキャンセリングのみの使用

ヘッドホンの電源をオンにすると、ノイズキャンセリング機能が有効になります。

注: ヘッドホンのバッテリー残量が低下している場合は、ノイズリダクション機能は利用できません。

BOSE® CONNECT アプリ

モバイル端末用のBose® Connect アプリで本製品の機能を最大限にご活用ください。

特長

- 本製品の性能を最大限に引き出します
- ほとんどのApple製品およびAndroid™製品に対応し無料で提供されています。
- 1回のスワイプ操作だけでBluetooth®対応機器に簡単に接続し、複数の機器を切り替えることもできます
- ファームウェアアップデートで本製品を常に最新の状態に保つことができます
- 本製品の名称、音声メッセージの言語やハイバネーションモードなど、ヘッドホンの設定をカスタマイズすることができます



USBケーブルを接続する

1. USBケーブルの小さい方のプラグを右イヤークップのmicro-USB端子に接続します。
2. 大きい方のプラグをUSBウォールチャージャーまたは電源の入っているコンピュータのUSBポートに接続します。

充電中はバッテリーインジケーターがオレンジ色に点滅します。(充電中は全ての機能が動作しません)

バッテリーの充電が終了すると、バッテリーインジケーターは緑に点灯します。バッテリーを完全に充電すると、ワイヤレスで最大20時間、ケーブル接続(ノイズキャンセリングあり)で最大40時間ヘッドホンを使用できます。



バッテリー残量の確認

ヘッドホンの電源をオンにするたびに、バッテリーの残量を知らせる音声メッセージが聞こえます。バッテリーの状態を目で確認するには、右イヤークップにあるインジケーターをご覧ください。

ヘッドホンを使用中にバッテリーの充電が必要になると、バッテリーインジケーターが赤く点滅します。詳しくは、「ヘッドホンのステータスインジケーター」(12ページ)をご覧ください。

Apple製品に接続すると、画面の右上にヘッドホンのバッテリー残量が表示されます。

ヘッドホンのステータスインジケータ

バッテリーインジケータとBluetooth®インジケータは右イヤークップにあります。



Bluetooth®インジケータ（✳）

インジケータの表示	システムの状態
青の点滅	ペアリング準備完了
白の点滅	接続中
白の点灯(10秒間)の後、消灯	接続済み

バッテリーインジケータ（🔋）

インジケータの表示	システムの状態
緑の点灯	満充電
オレンジの点滅	充電中
オレンジの点灯	バッテリー残量低下
赤の点滅	充電が必要
赤の点灯	充電エラー、動作温度範囲外

本製品には、Bluetooth®のペアリングやバッテリーの残量を案内する音声ガイドが組み込まれています。

組み込まれている言語

- 英語
- ドイツ語
- 韓国語
- スウェーデン語
- スペイン語
- 中国語
- イタリア語
- オランダ語
- フランス語
- 日本語
- ポルトガル語

言語を変更する

1. **+** ボタンと **●●●** ボタンを同時に押して、言語を選択する最初の音声メッセージが聞こえるまで押し続けます。
2. **+** ボタンまたは **-** ボタンを押して、使用したい言語がアナウンスされるまで送ります。
3. 使用する言語が聞こえたら、**●●●** ボタンを長押しして選択します。

Bluetooth®ワイヤレステクノロジーについて

Bluetooth®ワイヤレステクノロジーにより、Bluetooth対応のスマートフォン、タブレット、コンピューター、その他のオーディオ機器の音楽をヘッドホンでストリーミング再生できます。Bluetooth対応機器から音楽をストリーミング再生するには、再生機器と本製品をペアリングする必要があります。

ペアリング方法を選択する

Bluetooth®対応機器とヘッドホンをペアリングするには、Bluetoothワイヤレステクノロジーを利用する方法と、Near Field Communication (NFC)機能を利用する方法があります。

NFCについて

NFCは、Bluetooth対応機器同士をタッチするだけでワイヤレス通信を確立する機能です。お使いの機器がNFCに対応しているかどうかは、機器の取扱説明書をご覧ください。

お使いのBluetooth対応機器がNFCに対応しているかどうか分からない場合:	15ページのBluetoothによるペアリング手順に従います。
お使いの機器がNFCによるBluetoothペアリングに対応している場合:	16ページのNFCによるペアリング手順に従います。

注: お使いの機器がNFCによるBluetoothペアリングに対応している場合は、どちらの方法でもペアリングできます。

Bluetooth®対応機器をペアリングする

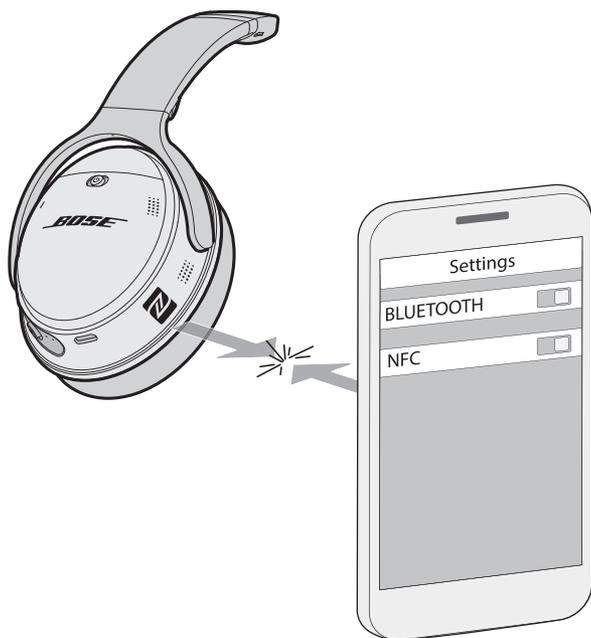
1. 電源/Bluetooth®ボタン(⏻)をBluetooth®記号(♻️)の方へスライドさせ、「ペアリングができます」というメッセージが聞こえ、Bluetoothインジケータが青に点滅したらボタンを放します。
2. Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにします。
ヒント: 通常、Bluetoothメニューは設定メニューにあります。
3. デバイスリストから本製品を選択します。



ペアリングされると、「<機器名>に接続されました」というメッセージが聞こえ、Bluetoothインジケータが白に点灯します。

NFCによるBluetooth®対応機器のペアリング

1. ヘッドホンの電源をオンにします。
2. 接続機器のロックを解除して、Bluetooth機能とNFC機能をオンにします。この機能の詳細については、接続機器の取扱説明書をご覧ください。
3. 接続機器のNFCタッチポイントをヘッドホンのNFCタッチポイントに当てます。ペアリングの同意を求めるメッセージが接続機器に表示された場合は許可してください。



ペアリングされると、「<機器名>に接続されました」というメッセージが聞こえ、Bluetoothインジケーターが白に点灯します。

Bluetooth®対応機器の接続を解除する

- 再生機器のBluetooth®機能を無効にします。
- お使いの機器がNFCによるBluetoothペアリングに対応している場合は、機器のNFCタッチポイントをヘッドホンのNFCタッチポイントに当てます。

Bluetooth®対応機器を再接続する

- 本製品は電源をオンにすると、最後に接続していた2台の機器に自動的に再接続します。機器が通信範囲内にあり、電源がオンになっていることを確認してください。
- お使いの機器がNFCによるBluetoothペアリングに対応している場合は、機器のNFCタッチポイントをヘッドホンのNFCタッチポイントに当てます。

複数の接続を管理する

本製品は、ペアリングしたBluetooth®対応機器を最大8台まで記憶でき、同時に2台までに自動的に接続します。

注: ただし、1度に音楽を再生できる機器は1台だけです。

接続されている2台のBluetooth®対応機器を切り替える

1. 1台目のBluetooth対応機器の再生を停止します。
2. 2台目のBluetooth対応機器で音楽を再生します。

接続されているBluetooth®対応機器を識別する

⏻ ボタンを ✳ 記号の方へスライドさせてすぐに放すと、現在接続されている機器の名前を確認できます。

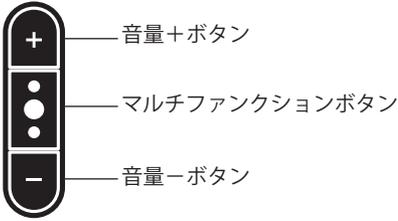
ヘッドホンのペアリングリストにあるBluetooth®対応機器に接続する

1. ⏻ ボタンを ✳ 記号の方へスライドさせてすぐに放し、接続されている機器の名前を確認します。
2. 2秒以内にもう一度 ⏻ ボタンを ✳ 記号の方へスライドさせてすぐに放すと、ヘッドホンのペアリングリストにある次の機器に接続します。使用する機器の名前が聞こえるまで、手順を繰り返します。
3. 接続したBluetooth対応機器で音楽を再生します。

ヘッドホンのペアリングリストを消去する

1. ⏻ ボタンを ✳ 記号の方にスライドして、「Bluetooth®機器のリストを削除しました」と聞こえるまで10秒間待ちます。登録されているすべてのBluetooth機器が消去され、ヘッドホンが新しい機器のペアリング待ち状態になります。
2. 接続機器のデバイスリストから本製品を削除します。

ヘッドホンの操作部は右イヤークップの側面にあります。



メディアの再生機能と音量調節機能

機能	操作方法
再生/一時停止	●●● ボタンを押します。
トラック送り	●●● ボタンを続けて2回押します。
早送り	●●● ボタンを続けて2回押し、2回目はそのまま押し続けます。
トラック戻し	●●● ボタンを続けて3回押します。
早戻し	●●● ボタンを続けて3回押し、3回目はそのまま押し続けます。
音量+ボタン	+ ボタンを押します。
音量-ボタン	- ボタンを押します。

通話機能

機能	操作方法
通話に応答する	●●● ボタンを押します。
通話を終了する	●●● ボタンを押します。
かかってきた電話に応答せず切る	●●● ボタンを2秒間長押しします。
通話中の相手を保留にしてキャッチホンに応答する	通話中にキャッチホンに応答する場合は、●●● ボタンを1回押しします。
キャッチホンにかかってきた電話を応答せずに切って通話を続ける	キャッチホンに応答せずに通話を続ける場合は、●●● ボタンを2秒間長押しします。
通話と保留を切り替える	キャッチホンの通話相手を切り替えるには、●●● ボタンを2回押しします。
3人で一緒に話す	キャッチホンの両方の通話相手と話す場合は、●●● ボタンを3秒間長押しします。
モバイル端末の音声コマンドを使用する	接続機器の音声コントロールアプリが立ち上がるまで、●●● ボタンを長押しします。音声コマンドの詳細については、ご使用の接続機器の取扱説明書をご覧ください。

音声ケーブル(予備)の使用

Bluetooth非対応の機器に接続する場合や、バッテリー残量が低下している場合は、付属の音声用ケーブルを使用します。

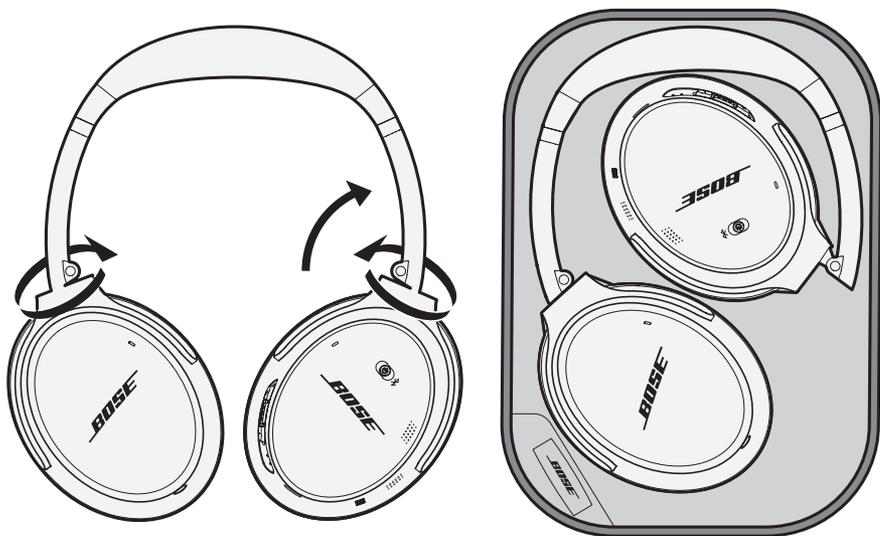
1. 音声用ケーブルの細い方のプラグをを左イヤークップのジャックにに接続します。
2. 音声用ケーブルの太い方のプラグをを再生機器のヘッドホン端子に接続します。



ヘッドホンを収納する

本製品は、収納、持ち運びに便利ようイヤークップを回転させることができます。ヘッドホンをケースに収納する際は、下図のように折りたたんでください。

- 本製品を使用しないときは、電源をオフにしてください。
- 本製品を数か月以上使用しない場合は、バッテリーを完全に充電してから保管してください。



ヘッドホンの清掃

ヘッドホンには、定期的な清掃は必要ありません。汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めた液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後、乾いた布で拭いてください。このとき、イヤークップや音声ケーブル端子に液体が入らないように注意してください。本体に直接洗剤やスプレーなどを塗付しないでください。

交換用イヤークッションについて

交換用イヤークッションは、ボーズ製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

ボーズ株式会社の連絡先は、次のサイトを参照してください: global.Bose.com

保証

保証の内容および条件につきましては、(<http://bose.co.jp/rep>)をご覧ください。また、製品のご登録をお願いいたします。ご登録は、<http://global.Bose.com/register>から簡単に行えます。製品をご登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

本製品の保証内容は、オーストラリアおよびニュージーランドでは適用されません。オーストラリアおよびニュージーランドでの保証の詳細については、弊社Webサイト (www.bose.com.au/warranty または www.bose.co.nz/warranty) をご覧ください。

トラブル	対処方法
ヘッドホンの電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> • ヘッドホンの電源をオンにします(9ページを参照)。 • バッテリーを充電します。
ヘッドホンをBluetooth®対応機器に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> • 音声用ケーブルを使用している場合は取り外します。 • USB充電ケーブルを接続している場合は取り外します。 • 接続する機器での操作: <ul style="list-style-type: none"> - Bluetooth機能をオフにしてから、もう一度オンにします。 - 機器のBluetoothリストから本製品を一旦削除し、もう一度ペアリングしなおします。 • 接続する機器をヘッドホンに近付けます。 • 別のBluetooth対応機器で接続できるか試してみます(15ページを参照)。 • YouTube.com/Boseにアクセスして、解説ビデオを参照します。 • ヘッドホンのペアリングリストを消去します。 ⏻ ボタンを ✳ 記号の方にスライドして、10秒間待ちます。登録されている機器のリストが削除されたら接続機器のデバイスリストから本製品を削除し、もう一度ペアリングしてみます。
NFC機能を利用してヘッドホンをペアリングできない	<ul style="list-style-type: none"> • お使いの機器がNFCによるBluetoothペアリングに対応していることを確認します。 • お使いの機器のロックを解除して、Bluetooth機能とNFC機能をオンにします。 • Bluetooth機器のNFCタッチポイントをヘッドホンのNFCタッチポイントに当てます。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • ヘッドホンの電源がオンになっていて、バッテリーが充電されていることを確認してください。 • 本製品と接続機器(または音楽再生アプリ)の音量が上がっているかどうかを確認してください。 • ⏻ ボタンを ✳ 記号の方へスライドさせてすぐに放し、接続されている機器の名前を確認します。正しい機器が接続されていることを確認してください。 • 再生機器の場所を変えるか、本製品に近づけてみてください。 • 別の機器やアプリケーションで試してみてください。 • 別のBluetooth対応機器で試してみてください(15ページを参照)。 • Bluetooth対応機器を2台接続している場合は、もう1台の機器の再生を一時停止してください。 • Bluetooth対応機器を2台接続している場合は、2台の機器をヘッドホンの通信範囲内(10 m)に移動してください。

故障かな？と思ったら

トラブル	対処方法
音質が悪い	<ul style="list-style-type: none">• 別の機器やアプリケーションで試してみてください。• 別のBluetooth対応機器で試してみてください。• Bluetooth対応機器を2台接続している場合は、2台目の機器の接続を解除してください。• 再生機器の場所を変えるか、本製品に近づけてみてください。
音声ケーブルで接続されている機器の音声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none">• 再生機器の電源をオンにして、音楽を再生します。• 音声ケーブルの両端をしっかりと接続しなおします。• 本製品と接続機器(または音楽再生アプリ)の音量が上がっているかどうかを確認してください。• 別の機器やアプリケーションで試してみてください。
音声ケーブルで接続されている機器の音質が悪い	<ul style="list-style-type: none">• 音声ケーブルの両端をしっかりと接続しなおします。• 別の機器やアプリケーションで試してみてください。
バッテリーが充電されない	<ul style="list-style-type: none">• USB充電ケーブルの両端をしっかりと接続しなおします。• ヘッドホンが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室内と同じ状態に戻してからもう一度充電してください。



767952-0010

BOSE[®]
Better sound through research[®]

©2016 Bose Corporation, The Mountain,
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM767952 Rev. 01